

心のつながりシート



近くの小学校で使ってもらいたい

木製アルコールスプレースタンド作り



小金井工業高等学校・定時制課程は「機械科」と「電気・電子科」に分かれています。学校の実習では、金属や樹脂を加工することが多いのですが、今回の取組では、使う人に製品素材の温かみを感じてもらいたいことから、金属ではなく木材を使って製作しました。スプレースタンドのデザインはインターネットで検索し、図面を作って試作品を完成させました。今後は小学生に使ってもらうために寸法を変更したり、スプレーボトルの大きさに合わせて棚板の高さが変更できるような工夫を盛り込んだりしながら、新型コロナウイルス感染症対策用品として使ってもらえる学校に提供できることを目指しています。



クラスの仲間と組立手順を検討しています。



スプレースタンド試作品

小金井工業高等学校・定時制課程の1年生は、ホームルームなどの時間を活用して、木製のアルコールスプレースタンドを作成しています。定時制課程の1年生の生徒数は13名と少なく、この人数で取り組むことができるボランティア活動を検討していました。そこで「新型コロナウイルス感染症予防対策用品を作って誰かに使ってもらいたい。」と意見がまとまり、みんなで分担しながら製作しました。

このような体験を通して、誰かの役に立つことのすばらしさ（自己有用感）を感じることでよい機会になりました。今後も年度内に4台ほど改良品を製作していく予定です。